

# 山中だより

山中  
キャッチ  
フレーズ

してもらおう  
させられる人から  
する人へ

枚方市立山田中学校 学校通信 第9号

発行 令和元年7月19日 校長 交久瀬 善浩

## ◆◆考えてみよう！！◆◆

「考えてみよう！！」のコーナーです。「山中だより」では、みなさんに考えてほしいことを、この「考えてみよう！！」のコーナーで掲載します。考えてほしいことの内容については、これという正解があるものではありません。すべて、自分がどう考え、どう行動するかを自分で考え、自分なりの答えを出し、そして自分で行動していく等の材料になるものを提供します。じっくり読んで、しっかりと考え、自分の行動を決めていってください。

それでは、次の記事を読んでください。これは、ネット上に載っていた「AERA」という雑誌記事の一部抜粋です。

## 『「教科書が読めない」子どもたち 教育現場から見た深刻な実情』から、一部抜粋転載。

子どもの読解力やコミュニケーション力に異変が起きている。その原因は何なのか。気になる調査結果がある。カギとなるのは、10年以降急速に普及し、内閣府の調査で今や青少年の約6割が使用しているスマートフォン。これが、言語機能やコミュニケーション機能をつかさどる脳の前頭前野に悪影響を与えている可能性があるというのだ。

調査を行ったのは、ニンテンドーDS用ソフト「脳トレ」シリーズの監修者としても知られる東北大学の川島隆太教授だ。仙台市立小中学校の児童・生徒7万人を対象に追跡調査した結果、スマホの使用で明らかに学力が低下し、使用を中止するとまた学力が向上するということが分かった。

なかでも、LINEなどメッセージアプリの影響が大きく、17年度の調査では、LINEなどを全く使用していない生徒の4教科の平均偏差値が50.8なのに対し、使用時間の長さに応じて偏差値は下がっていき、1日4時間以上使用している生徒の偏差値は40.6。実に10以上の差がついてしまった。川島教授によると、学習時間は十分にあって、友人とメッセージをしながら……といったマルチタスク化が進むことで集中力がそがれ、勉強の効率が落ちてしまったことが要因の一つと考えられるという。

さらに恐ろしいことに、スマホを長時間利用すると、読書をした時に活発に働く前頭前野に、安静にしている時よりもさらに働かなくなる「抑制現象」が起き、健常児でも言語機能の発達に遅れがでることがあるらしい。この抑制現象はテレビやゲームを長時間利用した時にも起こるという。

「スマホはお酒と同じで、『利用時間を1時間以内に留める』など、自制心を持って利用すれば悪影響は出ないことも分かっています。ただ、それは大人でもかなり難しいことだと思います」(川島教授)

相手の気持ちを思いやった上で言葉を発したり、試行錯誤したり、新しいアイデアを発想したり……。前頭前野が担うのは、AIが苦手で、かつ人間が得意とする「思考」や「発想」だ。AI時代を生き抜くために最も必要とされる能力が、スマホやテレビ、ゲームといった、かつて人が生み出した機器によって衰えつつあるとしたら何とも皮肉だ。

この記事を読んで、どう思いましたか？この記事の内容は、昔から言われてきた内容で、特段新しいものではありません。最初はテレビの長時間視聴、その後はテレビゲームの長時間使用、そして今回スマホの長時間使用。但し、今回異なっているところがあります。それは、昔は研究者が警鐘を鳴らしているだけで、科学的な根拠となるデータ等が無かった。それが、今回は科学的なデータを下に、より確実なものとして提示されたのです。

今のスマホをとるか、未来の自分をとるか、あなた自身で考え、答えを出してください。

## ◆「野望」を持とう！！◆

「野望」、別の言葉では「志」。「志」は私利私欲があっては駄目ですが、「野望」では私利私欲OKです。「野望」という言葉には悪者のイメージがあります。それを前提として読んでください。それと内容については、私の個人的な想いと考えです。

これからみなさんが自分の人生を考える材料として使ってください。

私は、人間は「欲」の動物だと思っています。人間の歴史をたどると、人間が、今のように文明を築き便利な生活ができるようになったのは、この「欲」が圧倒的に他の動物より強かったからだと思うのです。

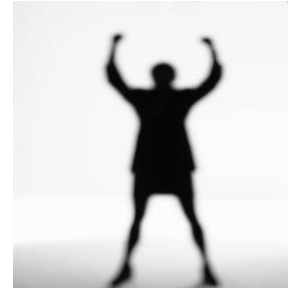
「欲」が人間に「知恵」や「知識」を持たせました。「欲」が人間に「野心」を持たせました。(裏面へ)



「野心」が成長して「野望」となりました。そして現代社会へと人間は発展してきたのです。

難しい書き方をしました。わかりにくいかもしれませんがもう少し簡単に書きます。

およそ2万年前、人間という生物が誕生しました。人間は、とても「欲」の強い動物でした。もっと獲物の動物を簡単に安全に捕らえられないかと考え、道具を使うことを思いつきました。「知恵」の誕生です。捕らえた動物や自然にはえている植物では、冬の間は食べ物が少なく困ります。そこで人間は、植物や動物を人間の手で育てることを始めました。農耕・牧畜の始まりです。狩猟や農耕は集団の方が効率よくできます。人間は集団生活を始めます。集団生活をする上では考えを伝えることが大切です。それで「言葉」が生まれ、「文字」が考え出されました。



「知恵」が「知識」へと発展しました。みなさんが学んでいるのは、この「知識」です。

集団生活をする、いろいろな考えが出てきます。それぞれの考えでみんながバラバラに動く、と集団としての力は発揮できません。全員を束ねる役が必要になりました。誰もが自分の考えが正しいと思うものです。自分の考えで集団を束ねたいと考える人が出現します。「野心」の誕生です。「競争」というものも同時に生まれました。やがて集団は大きくなっていきます。他の集団も従えようとします。「野心」は「野望」へと発展します。やがて小さな国家が出来上がりました。より「欲」の強い権力者は、さらに豊かな生活をするために周りの国を従えていきます。「戦争」の始まりです。

人間の「欲」はとどまることを知りません。「もっと楽に、もっとたくさん」という「欲」は、「科学」という「知識」分野を生み、産業を興しました。様々な生活をする上で便利なものが考え出されました。また同時に、大量に人間を殺す道具もできました。その際たるものが「核」です。

このように、人間は「欲」によって現代社会を作り上げてきたのです。



そして今、その社会にみなさんが生きているのです。

生活に困らない豊かな社会（日本）に生きている人々は、昔の人々のように強い「欲」を持たなくなりました。それほど強く望まなくても適当に困らない程度に何でも手に入り、生活の不安もほとんど感じなくなっているからです。安全に生活できるので人と人の繋がりも昔ほど強くなくても安心して生活できるようになり、人間関係を築くことさえ必要性が薄れ、希薄になってきています。年齢が下になればなるほどその傾向は強くなります。今の子どもたちは人間関係を作る訓練さえ奪われる状況が出てきています。



小さな頃から何でも周りの大人に与えられ、物が満ちたりて「欲」を感じる必要がなくなり、本来人間として受けるべき人間関係の訓練も受けさせて貰えないために、人間関係で必要とする「欲」も感じる機会が少なくなりました。本当の意味での「人間として生きる力」＝「欲」を、自ら作り出すことができなくなっているのです。別の言い方をすれば、今の日本社会がそのような環境を作り出してしまったのです。

そこで、みなさんに望むことは、「野望」を持ってほしいということです。もちろん「志」を持つなら、さらに良いです。

「野望」の対象は、何でもかまいません。例えば、次のようなものはどうでしょうか？

- ・大気中から地球温暖化の原因となっている二酸化炭素を効率よく除去できる機械を開発する。
- ・核ミサイルを打ち落とすことができるレーザー光線の開発。

もう少し身近なところでは、カリスマ美容師やカリスマ料理人、政治家、起業（自分で会社を作る）等という「野望」も面白いと思います。薬剤師になって新しい薬を開発したり、プログラマーになって世界中の人が使うゲームやソフトを開発したりするのも凄いと思います。地震予知技術の開発や新エネルギーの開発も素晴らしいと思います。



とにかく自分自身の「野望」を持つことが大切です。

そして「野望」をもったら、その「野望」を実現するための計画を立てることで、計画は、「自分が何歳でその「野望」を実現するのか」というところをスタート点にして下さい。そして、「そのために何歳でこうなっていることが必要で、さらにそのためには何歳でこうなることが必要。だから今、中学生として自分はこうする必要がある。」というように、未来から現在に向けて計画を立ててください。そうすれば、今やることが鮮明に見えてきて、「野望」実現に向けての努力も、ただ単に努力するのではなく、無駄を省いた合理的な努力ができるようになります。それができれば、実現がかなり近づきます。

「目標」をはっきりさせて計画を立て、だから今これをするんだと言える人は、事を成し遂げることができる人です。そういう人になってくれることを期待しています。